



市民生活部関係

市民清掃について

●質問 市民清掃の実施方法や助成はどのようになっていますか。

●回答 旧町の方法が違うため、今年度は統一した実施ができませんでした。19年度からは関係部署が連携して、市全体を統一して取り組みたいと考えています。今年度の助成としては、建設部で道路の草刈りのため混合油を支給しています。

ゴミ袋について

●質問 なぜ深江、布津のゴミ袋の単価をそのままにして、統一しなかったのですか。

●回答 本来は合併前に決めるべきでしたが、合併協議会では3年以内に調整すると確認されました。8月末に環境対策審議会を開く予定で、早急に統一を図りたいと考えています。(現在、ゴミ袋の種類、販売単価等の統一に向けて、環境問題対策審議会で調査審議中です。)

環境保護について

●質問 婦人会としてEM菌を活用した環境保護に取り組んでおり、諫早市、島原市、雲仙市のように発酵機械を導入し、EM発酵液を無償配布した

いのですが、南島原市としてはどのように考えられていますか。

●回答 現段階ではごみ減量化でコンポスト、ごみ処理機の補助を予算化し、ごみ減量に対応しています。EM菌については、平成18年度は他市を調査し検討させていただきたいと思えます。EM菌とは、有用な微生物群という意味で、自然界に生息している微生物の中から、自然界を浄化する働きなどを持つ有用な微生物を人間の手によって培養させたもの。

ごみ焼却について

●質問 南有馬衛生センターは、ゴミが足りなくて重油を燃やして処理しているのに、なぜ深江、布津は県央にゴミを持っていくのですか。

●回答 重油を燃やしている事実はありません。深江・布津は合併前の当初建設時点で県央南広域環境組合に加入し、有馬から加津佐までが南有馬衛生センターで共同処理していました。それぞれ処理能力の限界があり、深江・布津のゴミまでは処理できないことや、今までの経緯上でのこのような形になっています。ただし、ダイオキシン対策として、可燃ごみを燃やした灰を、再度、灯油を使い溶融炉で1,400度で燃やしています。ゴミが足りないから灯油を燃やしているわけではありません。

福祉保健部関係

健診先の充実について

●要望 人間ドックなどは、合併して市外の病院で受診できなくなりませんが、これまでの受診結果、経緯が無駄になるため、早急に復活できませんか。

●回答 南高医師会の意見として、「合併を機に地域の医療は地域の医師会で対処したい。」との意向を受け、新市では健診業務を南高医師会に委託しました。そのため旧町で受診できていた一部の病院が受診できなくなりましたが、今後医師会とも協議していきますが、今年度については既に契約済みであり、変更は困難です。

健診の有料化について

●質問 無料だった一般健診が、合併して有料になりました。何を基準に決めたのですか。

●回答 合併協議会の中で、財政的な問題、隣接市も応分に負担していたため、隣接市も応分に負担していただいていたため、おおむね3割の負担をお願いしたいということで確認されました。一部の無料だった地域の方にはご負担頂くことになりましたが、ご理解いただきますようお願いいたします。なお、基本健康診査、採血、身長、体重、内臓脂肪メタボリックシンドロームの健診、肝炎ウイルス、肺がん、結核健診などは無料で行っています。

介護保険について

●質問 8町が合併して負担は軽くなると思いましたが、なぜ保険料は上がったのですか。

●回答 介護保険については、合併により負担が上がったものではなく、18年度に介護保険の見直しがされたことが原因です。介護保険料を利用するとするだけ給付費が上がり、その分は保険料にはね返ります。65歳以上の方は、1号保険料で介護保険料負担割合が19%、40歳以上65歳未満は31%の比率で保険料を収め、国県市が50%を負担する相互扶助の形で成り立っているのが現状です。



タクシー券について

●質問 タクシー券は、今後どうなるのですか。

●回答 福祉タクシー券については、旧有家、旧西有家、旧北有馬で行っていましたが、これを8町に広げるとなれば、やはりかなりの財源があるとのことから、合併協議では一旦廃止し、新市で検討するという事で、現在いろいろな方向で担当に検討させています。もししばらくお待ちいただけますようお願いいたします。

敬老祝金について

●質問 敬老祝金はどのようにになっていますか。

●回答 県に準じて88歳時に敬老祝金、100歳時に長寿祝金を支給します。



障害者への支援について

●要望 南島原市に手話通訳ができる人を雇ってもらいたい。私たち障害者が安心して市役所に行き、手続きができる環境、また、手話通訳を派遣していただけるようにお願いしたい。

●回答 8つの町が市になったので、レベルアップ、また、そういうやさしさが必要だと思えます。ボランティア、そういう人材がいるのか、財政的にどういう形がいいのかなど検討しながら、実現できるように努力します。

障害者への情報提供について

●要望 身体障害者のために、情報を提供してもらいたい。

●回答 市全体の情報を手話、点字などの何らかの伝達方法などが必要になると思いますが、市となったのだから、やさしさも市としてレベルアップしないといけないと思えます。私たちが気づかない部分のご意見をいただき、取り組める部分を取り組んで行きたいと思えます。

専門職員の配置について

●要望 マニフェストに掲げられている、住みよい地域をつくるため、NPO(民間非営利団体)を支援する運営窓口を設置するという件には賛成であり、設置するにあたっては、障害者とボランティア団体の連携ができ、障害者の引きこもりがなくなる

ように、障害者を把握し、コーディネートできる専門の職員を配置いただきたい。

●回答 各部署にマニフェストが実現可能かどうか、今、検討させています。順次実現可能なものから行うような体制をとりつつあります。予算関係、仕組みの問題もあります。いろいろ検討した上で、ひとつひとつ着実に実現に向けて担当部署が、がんばっています。

農林水産部、農業委員会関係

●質問 南島原市の農業振興対策について、どのように考えていますか。

●回答 南島原市は、県内有数の農地帯であり、南島原市の武器になると考えています。そのためには、ほ場整備など農業生産基盤を積極的に進め、食糧危機、安全な食料を提供する基地になるような農業政策を展開していきます。

イノシシ被害対策について

●提案 イノシシ被害対策として、担当の部課長も現地被害の実態を把握して、国・県の協力のもと科学的な対策で根絶を図ってはどうか。

●回答 イノシシ対策については、数が増えたり頭を痛めています。今年度の予算は、捕獲機20機を西有家、加津佐、くくり畷100機を加津佐、電気柵29,000m、ネット柵5,000m、ワイヤーメッシュ6,000mを西有家、北有馬、南有馬、加津佐に設置するこ

とにしています。今後は色々検討して対処し、県にも問い合わせながら検討していきます。

部会などの事務局について

●要望 部会の事務局を市役所にお願いできませんか。

●回答 部会の事務局については、合併にかかわらず以前から任意団体の通帳などを預かることは好ましくないと指摘があります。しかし、実際は補助金を交付し、適正運営がなされているか把握する必要があるため(旧)役場で事務局をもつケースが多々見受けられました。このため、今回の合併で補助金が廃止されたことを機に、規約などの変更も含め任意団体の本来あるべき姿に改善するよう指導しています。また、支所経済課の職員数については、合併で削減されていますが、総会などの会議資料の作成および研修の斡旋など、出納に関すること以外は従来どおり協力していきます。

畜産業について

●質問 主要産業の一つである畜産業をどう考えていますか。

●回答 畜産業については、「新市建設計画」の基本方針を踏まえ、振興を図っており、主要産業のひとつとして、生産額の拡大を図るため、補助事業などの活用を含め飼養規模の拡大を推進していきたいと考えています。